

## 令和4年度事業報告書

### 1. 法人の概要

名称 学校法人 門真めぐみ学園（昭和46年4月1日法人設立）

代表者 理事長 岡崎 恭子

住所 門真市四宮3丁目10-24

電話 072-882-0071

FAX 072-882-0085

設置する学校

住所 門真市四宮3丁目10-24

名称 門真めぐみ幼稚園

めぐみっこクラブ（小規模保育事業）

役員・教職員の概要

理事 7名

監事 2名

評議員 18名

教職員 28名

入学定員及び園児数の状況

		入学定員 (人)	実園児数 (人)	クラス数
めぐみっこ	1歳児	6	7	1
	2歳児	12	9	1
	合計	18	16	2
門真めぐみ幼稚園	満3歳児	25	4	1
	3歳児	105	52	3
	4歳児	210	53	2
	5歳児	210	75	3
	合計	550	180	9

令和4年5月1日現在

### 2. 門真めぐみ幼稚園・めぐみっこクラブの概要

《教育方針》

## 「あたたかい心の教育」

《保育料及び諸経費》

保育料：全園児 25,700 円（月額）

園バス維持費：2000 円（月額）

保護者会費：750 円（月額）

協力費：500 円（月額）（検診費・保険料・諸行事費）

入園料：35,000 円

環境衛生費：500 円（月額）

施設設備費：15,000 円

※施設設備費に限り、兄弟及び姉妹が在園もしくは同時入園に限り弟妹分を免除する。

※行政による認定によって各費用負担が異なる場合あり。

《預かり保育の時間及び費用》

月～金曜日：7時30分より保育終了後～18時30分

月極：7000円(新1号) 臨時：450円(17:00まで)・600円(18:30まで)

長期休業中の預かり保育あり（夏・冬・春）日額 1000 円

《行事の実地状況》

4月 入園式・始業式・身体測定(毎月)・誕生会(毎月)・春の全国交通安全運動参加（中止）

5月 園外保育・こどもの日の集い・保護者参観・花まつり（規模縮小）

6月 健康診断・園庭開放・1日入園・保護者参観

7月 学期末懇談会・七夕の集い・七夕まつり音楽会

盆踊り（規模縮小）・終業式・年長児お泊まり保育（規模縮小）

8月 夏休み・夏期保育(6日間)

9月 始業式・避難訓練・敬老参観・園庭開放・1日入園

お月見の会・秋の全国交通安全運動参加（中止）

10月 運動会・翌年度入園児面接・園庭開放・避難訓練

11月 1日動物園・門真市スポーツレクレーション大会参加

12月 生活発表会・餅つき・年末感謝祭・終業式・冬休み

1月 始業式・製作展（3部制、分散実施）

2月 節分豆まき・小学校見学(中止)・避難訓練

3月 ひなまつり音楽会・ひなまつりの集い・卒園遠足・お別れ会・

## 卒園式・終了式

### 《施設関係》

園地総面積 2,862 m<sup>2</sup> 運動場面積 1,322 m<sup>2</sup>

明るく広々とした緑豊かな園庭 水車の情緒豊かな憩いの場所

### 《主な事業の目的・計画》

- ① コロナ禍に対応するため、通園バスを始め、施設全体すべてを消毒・除菌し、各保育室・バスには空気清浄機等を導入し対策している。
- ② 幼児教育無償化により、順次デジタル化（領収書・証明書の発行。登降園・連絡の一括管理等）を順次計画、実施中。
- ③ 施設設備について老朽化した遊具や保育室の備品（机・椅子・ロッカー等）を補修・改築。
- ④ 保育内容の向上を目指す。前々年度に引き続き「絵本に親しむ」をさらに「童謡童話を親しむ」に発展させ、絵本・童謡・童話を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識する。
- ⑤ 「子育て支援」の層が2歳児より1歳児のニーズがあり、内容を再考すると同時に保育の備品についても検討し、実施した。
- ⑥ 東側園舎廊下老朽化により塗料の塗り替えを計画。

### 《事業報告》

- ① 小規模保育事業めぐみっこクラブが3年目を迎え、少しずつ利用者が増加した。1歳からの発達の連続性を視野に入れ幼児教育の充実を目指す。
- ② 施設設備について  
空き部屋を活用し、雨天においても遊べる積み木を購入。また、感染症対策としてパーティションや空気清浄機、抗菌対策を実施した。
- ③ 保育内容について「みんなに童謡童話を」というテーマのもと童謡童話の部屋を設け、「語って聞かせる」ことが出来る環境を整え、毎月の歌や音楽会をコロナ禍でも開催、保護者の要望もあり、音楽会は三部制で実施した。またお泊まり保育をお楽しみ会へと、敬老参観を祖父母への手紙・ハガキ郵便体験へとできる限り例年のように子どもたちが経験できるよう実施を目指した。
- ④ 「子育て支援」「地域の連携」として、未就園児保育「めぐみ広場」を月1回開催。園庭開放の回数を増やし、子育て相談も実施したが、コロナ禍の影響もあり、例年ほど参加者は少ないように思われた。

- ⑤ 運動会をラクダブドームで実施。「おやじの会」が生活発表会・花まつりに手伝っていただき、コロナ禍の中ではあったが行事についてもスムーズに行うことができた。
- ⑥ 1歳児対象に「親子で絵本を楽しもう」という企画を実行、2年目に入った。
- ⑦ 預かり保育が無償化等の影響もあり、希望人数が拡大。それに伴い、給食提供等、預かり保育内容を拡充化した。
- ⑧ 幼児教育無償化により、事務が煩雑化した。IT導入など対応し、事務員を雇用し対応している。
- ⑨ 音楽会でピアノ・ハーモニカを使用することがコロナ禍により困難となったため、代わりとしてBOXフォンや和太鼓、ビブラフォン等を購入し、音楽会にて使用した。